

クローズアップ定例委員会

今回は、「高山市地域公共交通計画」（地域公共交通活性化再生法の改正に伴い、計画の名称が「地域公共交通網形成計画」から「地域公共交通計画」に変わります）の策定についてお知らせします。

高山市地域公共交通計画の概要

○背景

人口の減少による利用者の減少、運転手の不足や高齢化のほか、公共交通を利用する上で乗換えが不便であることや、割引制度が複雑ということなど、地域の実情や市民ニーズが変化していることを踏まえ、地域の移動手段を確保するとともに、公共交通の利便性向上を図っていくため。

○計画の期間

令和6年6月から令和12年3月まで

○計画の概要

◆地域公共交通の目指す姿

- ・多くの市民が通勤、通学、通院、買い物などに地域公共交通を利用している。
- ・観光客が移動手段として地域公共交通を利用している。

◆5つの見直しの方向性

- ①交通不便者が日常生活を送る上で必要な移動手段の確保
- ②人口減少や運転手不足を踏まえた持続可能な公共交通の確保
- ③地域や路線の実情やニーズに合わせた効率的な運行
- ④交通事業者、地域、行政の役割や特性を活かした公共交通の整備
- ⑤公共交通を利用しやすい環境の整備

◆重点事業

幹線バスの見直し、のらマイカーの見直し、利用環境の整備、新たな取組や連携の検討

○議会の視点

問 地域の満足やニーズに応えていくことが重要な一方で、地域側も、自分の地域における公共交通を積極的に活用していく、需要を示していくこともすごく大事である。地域側への情報の周知や、地域側との連携についての取組はあるか。

答 実際利用をしていただくよう協議の場はなかなかつくってこれなかったことも事実である。地域の声を聞いていくことと同時に、使っていただくということが一番であるので、計画の中で取り組んでいく。

問 運転手の確保が最も課題であるが、支所地域の特に交通量や信号が少ないエリアなどは無人運転、自動運転もある程度選択肢にあがってくるのではないかと。導入についてはどうか。

答 自動運転については、運転手不足への対応の取組の1つと考えるが、有効な手段かどうかということは引き続き調査、研究していく。

問 観光客が戻っている中で、印象としては、乗っていない路線も時間帯もあると感じるが、その実際の利用状況はどうか。

答 飛驒の里線については、ダイヤによっては乗り切れずに、大型バスを使って輸送しているのが実情。それ以外の路線では、平日を中心にほとんど乗られていない現状もある。今後の見直しに向けて検討していく。

問 デマンドタクシーについて、予約をしづらいとか、分からないといった高齢者の声があると聞いているがどうか。

答 今後それぞれの地域において、様々な話し合いをしたり、周知に力を入れていきたい。

